

地球温暖化対策実行計画の評価

1. 温室効果ガス (CO₂) の排出量

朝日町では「地球温暖化防止対策の推進に関する法律第21条」に基づき、令和元年度からの第2次朝日町地球温暖化対策実行計画（令和元年度～令和5年度）を策定し、温室効果ガス (CO₂) 排出量の削減に取り組んでいます。

令和2年度の温室効果ガスの排出量は1,163t-CO₂で、基準年度（平成29年度）と比較して、4.4%増加しました。増加の主な要因としては、小中学校のエアコン設置、中学校給食の開始によるものであります。

表1-1では、燃料別排出量の内訳を示し、表1-2では、月別排出量の内訳を示しました。

【表1-1】燃料別CO₂排出量

単位:t-CO₂

	電気	都市ガス	LPガス	ガソリン	灯油	計
令和2年度	1,078.9	80.4	0.1	2.2	0.9	1,162.5
平成29年度	1,039.0	72.0	0.1	1.8	0.9	1,113.8
比較	103.8%	111.7%	100.0%	122.2%	100.0%	104.4%

【表1-2】月別CO₂排出量

単位:t-CO₂

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
R2年度	70.6	63.9	93.7	104.6	117.6	117.7	69.2	86.5	101.1	120.0	115.9	101.7	1,162.5
H29年度	80.5	77.5	85.5	111.6	97.0	93.1	79.7	84.8	98.8	107.1	108.5	89.7	1,113.8
比較	87.7%	82.5%	109.6%	93.7%	121.2%	126.4%	86.8%	102.0%	102.3%	112.0%	106.8%	113.4%	104.4%

「実行計画では、平成29年度を基準年度として令和12年度に基準年度対比26%の削減目標を掲げています」

2. 温室効果ガス排出要因の燃料使用量

温室効果ガスには、二酸化炭素・メタン・一酸化二窒素など法律上6種類の物質があります。事務事業で発生する温室効果ガス (CO₂) は地球温暖化の原因となっています。

表2-1では朝日町において事務事業で消費する、電力・ガス・公用車燃料を燃料別使用量で比較しました。

【表2-1】燃料別使用量

	電気(kwh)	都市ガス(m ³)	LPガス(m ³)	ガソリン(ℓ)	灯油(ℓ)
令和2年度	2,224,643.00	36,066.00	43.00	935.26	371.45
平成29年度	2,142,381.25	32,296.00	28.10	773.20	351.20
比較	103.8%	111.7%	153.0%	121.0%	105.8%